

鳥取市立学校の適正規模・適正配置基本方針(素案) 市民政策コメントの結果について

1.市民政策コメントの概要

- (1) 実施期間 令和2年12月14日（月）～令和3年1月22日（金）
(2) 実施結果 提案者7名

2.意見、提案等の内容(一部抜粋)

<p>通学時間が1時間以内とあるが、学校統合により公共交通機関を利用して通学することになる児童・生徒は帰宅が遅くなり、規則正しい健康的な生活が阻害されるおそれがある。</p>
<p>徒歩で通学する児童・生徒との不公平感が増大する。健康、学力、余暇利用、塾、保護者の経済的負担等々、大きな差異が生じる。比較検討をしてほしい。</p>
<p>統合する場合は、スクールバスの配置が必須条件である。</p>
<p>「校区と自治会・公民館の区域が整合すること」とはどういうことか。すでに学校統合している校区では整合していない地域がある。</p>
<p>通学距離が長くなり、時間がかかるほど通学の安全性は確保しづらい面が出てくるのではないかと。検証してほしい。例えば、公共交通機関の運休、通行止め等への対策も必要となってくる。</p>
<p>現在、文部科学省は35人学級の検討を始めている。国の20年後の動向も検討してブロックや学級数を再検討すべきではないだろうか。</p>
<p>各ブロックに学校数の目安が示されているが、具体的に令和22年の学校統合の状況を明白にしないと数値だけでは何の検討にもならない。</p>
<p>現在、学校統合しているのは合併町村地域ばかりである。これは、なぜか回答を求める。</p>
<p>説明会に参加し、「20年後を皆さんで考えてください。地域やブロックで議論をしてください。」という旨の発言に違和感を覚えました。「地域の意見を…」という言葉は、非常に耳障りのいい便利な言葉ですが、地域の意見を尊重しすぎたり、(悪い意味で)声の大きい人の意見が通りやすくなったり、「自治体(公務員)の責任逃れ」に使えたりする危険性を含んだ言葉です。</p>
<p>今の時点ですでに「残してもらっている」という感覚があります。なので「わがままは言えない」と、県民性もあり、遠慮深い部分が出てくるようで気がかりです。「説得より納得」の形ですすめていただけたらありがたいです。</p>
<p>こちらに移住を希望されている幾人もの都市在住者とお話をいたしました。地方移住の魅力の1つとして、「子供ののびのびと育てられる」「小規模校での教育」などは大きなメリットとみただけののだと痛感します。移住促進を市として進めるのであれば、整合性をもって政策をみていただきたいと思えます。</p>
<p>大きな意味での地域資源（教育・福祉等）の再構成を考えていただきたい。</p>
<p>地元の意見を尊重し、根気強く意見表明の機会をつくっていただきたい。</p>
<p>当事者である子供たち、元子供たちの意見を聞いていただきたい。</p>
<p>住政策など、他の政策との整合性などを考慮していただきたい。</p>
<p>少子化の中で、できうる範囲で学校をまとめていくことは大切なことである。議論をしていくうえで中学校も含めた地域の中で、小中学校のあり方について考えていくことは賛成である。しかしながら、市が示したブロック分けはあまりにも範囲が広すぎて、議論が深まらないのではないかと。中学校単位としたブロックではなくもう少し小さなブロックで考えていくほうが良いのではないかと。</p>
<p>規模だけを考え、特色ある学校作りができないのであればとつても残念だと思えます。小規模転入制度を進めておきながら、複式学級の弊害を伝えることに矛盾を感じました。今も日々その中で教育を受けている子どもたちがいる現状をどう思っているのかも教えてほしいです。</p>

鳥取市立学校の適正規模・適正配置基本方針(素案)

説明会での意見、提案等について

1.鳥取市立学校の適正規模・適正配置基本方針(素案)説明会の概要

- (1) 実施期間 令和2年12月18日(金)～令和3年1月21日(木)
- (2) 開催回数 市内10カ所
- (3) 参加者数 95人

2.意見、提案等の内容(一部抜粋)

<p>学校の適正規模について説明があったが、これは人数だけのことを指しているのか。また児童生徒数の多少に関して本市が抱えている課題はあるか。</p>
<p>「検討組織から意見書を出していただく」とあるが、非常に受け身に感じる。誰が主導していくことになるのか。</p>
<p>県や市として中山間地のあり方はどうしていくのかが必要になると思う。県が中山間地行動指針を策定しておりその中に、教育保育等の子育て環境の整備及び確保という項目があり、その中で人口減等に伴う学校や保育施設の統廃合による子どもの通園・通学に係る負担が増大し若い世代の定住を阻害という記述がある。県と市がもっと連携し取り組んで欲しい。</p>
<p>説明の中で適正でない状態として、複式学級やクラス替えができないという例があげられていた。長期的に考えることも重要だと思うが、現在適正ではないと言われている学校へ通っている子どもたちについてどう考えているのか。</p>
<p>通学面等が今後どうなっていくのか。施設面や交通網の再編等についても示してもらえるのか。</p>
<p>教職員に負担がかかっているように聞けるが、今後なり手が少なくなっていくのではないかと心配している。学校の教職員の負担を減らすためにも定数をもう少し考える必要があると思う。</p>
<p>ブロック単位で協議していくことになるのか。他のブロックとも協議することはあるのか。</p>
<p>保護者は安全に通学できるかがなによりも心配だと思う。そういうことに対してしっかり支援できるか。</p>
<p>バス利用に対して支援等はあるのか。</p>
<p>検討組織を立ち上げるには、何かきっかけがないと難しいと思う。それについて方針などあるか。</p>
<p>南ブロックの中で話をすると、佐治小学校の子どもたちが仮に河原まで20kmの道のりを通うことになった場合、子どもたちがそれに耐えられるかどうか不安がある。学校の配置を決める際には、ある程度そのあたりに配慮していただけるのか。</p>
<p>地域ごとで意見が食い違った時にどのようにまとめていこうと考えているのか。</p>
<p>ブロック別協議会の構成メンバーに保護者代表とあるが、自分の子どもが卒業してしまう。少子化を踏まえ検討していく必要があると思うが、もう少し今の保護者に問題意識を持たせてくれるような具体的な課題を持たせて欲しい。</p>
<p>市全体として、人口が増えている地域、減っている地域もある中で、まちづくり等も含めて考えていく必要があると思うがどのように考えているのか。</p>
<p>北ブロックと西1ブロックは分かれているが、これは北中、城北小学校は千代川の西と東で分かれることになるのか。</p>
<p>保護者としても適正規模化はぜひ進めて欲しい。今後世界で活躍していく人材を育成していくことを考えると、多様な友達や考え方や触れ合って育ってほしいと思う。今後統廃合の話が出ると自治会が崩壊してしまうというような意見が高齢の方から出てくると思うが次世代の子どもたちを地域としてどう育んでいくかという視点で議論をしていっていただきたい。</p>
<p>居住地で通う学校が決まると思う。学校をある程度エリアを設け、そのエリアの中で自由選択できる制度を設けている自治体が増えているが、そのようなことは念頭に置いているのか。今後のことを考えると、施設をある程度流動的に使うような方法がいいと思う。</p>